

## 令和5年度 事業報告書

特定非営利活動法人アーツ・イニシアティヴ・トウキョウ

## 1 事業の成果

## (1) 特定非営利活動に係る事業

## ①「アーティストの東京滞在宿舎の提供及び生活支援サービス」事業

海外の文化財団との連携により海外作家を日本に招聘した。フィンランド文化財団を通じて選出したアーティスト（■）は、刑務所の内外をつなぎ、孤立や偏見ほか社会課題を、環境と心理作用、アートのアプローチから研究している。東京のリサーチでは設立100周年となる多摩少年院や福祉施設への訪問とヒアリングのほか、障害のある子供とのワークショップも実施し、後日レポートをウェブサイトで公開した。モンドリアン財団を通じて招聘したキュレーター（■）は、霧や香りなど目に見えないものと空間における人々の意識について研究を進め、滞在中は香道体験や香道の家元との対話の機会を設けたほか、京都や別府、和歌山へのリサーチ、美術大学での学生向けのレクチャーも行った。また、身体表現をテーマに活動するオランダのアーティスト（■）は、「ふるまい」をキーワードに都市空間の視覚デザインをマッピングする特設サイトを制作したほか、日常生活や身近な自然にある「動き」をテーマに解釈を交換し身体表現につなげるワークショップを、ダンサー向けと一般向けに開催し、年齢や背景の異なる幅広い層の市民と交流する機会を創出した。

## ②「海外におけるアーティストインレジデンス施設に関する情報収集、提供」事業

気候危機に対してアート業界からのアクションや対策を考えるイギリスの任意団体「Gallery Climate Coalition (GCC)」との情報交換を継続した。

## ③「国内アーティストの海外施設への入所支援」事業

15回目となるバッカーズ・ファンデーション (BAR)とのレジデンスプログラムでは、アーティスト（■）とキュレーター（■）を1名ずつ選出し、海外視察の支援を行った。アーティストは、フランスやオランダ、イタリアをはじめヨーロッパ各地を訪問し、マティスのアトリエや洞窟壁画ほか歴史的に重要な芸術家らの足取りや表現を研究し、自身の絵画表現の視野をひろげるリサーチを行った。キュレーターは、オランダを訪問し、現地のアートシーンを様々な当事者の視点で探るリサーチを行ったほか精神医療とアートや倉庫を活用したスペースほか、滞在者とのコミュニケーションを通じて現地のリアルな情報を得ることができた。帰国後、アムステルダムで出会ったフランス人作家（■）の「崩壊主義」にまつわる展示を日本で構想している。

「メルセデス・ベンツアート・スコープ」では日本人アーティスト1名（■）をドイツ・ベルリンへ派遣した。現地では「動物と労働」についてリサーチを行い、自作した動物の着ぐるみを着てベルリン市内のマーケット等でパフォーマンスを行った。帰国後、このドイツでの経験をもとに多摩美術大学でレクチャーとワークショップを行い、学生たちが映像制作を行なった。

## ④「現代美術の展覧会、ワークショップの実施及びその支援」事業

本年度も、自治体、企業との協働プログラムを中心に行なった。

中堅作家のキャリアアップや海外活動を支援する「Tokyo Contemporary Art Award(TCAA)」では公募および推薦作家の選出サポートと選考会の運営を行なった。一次選考に続く最終選考では、オランダ、ニューヨーク、香港より3名の選考委員を招聘し、国内選考委員を加えた6名（■）

が、3年ぶりとなる候補作家のスタジオを訪問し、プレゼンテーションとディスカッションを経て2名（■）を選出。2月には受賞記念シンポジウムを、3月には前回のTCAA受賞記念展（■）に関連したアーティストトークを東京都現代美術館にて実施した。移民や手仕事、土地の歴史などアーティストそれぞれの制作とリサーチの過程が紹介され、選考委員との対話が行われた。海外選考委員（■）の2回目の日本滞在中に、前回と今回の受賞アーティストとのメンタリングを行なった他、■のニューヨークでの個展に合わせて現地で選考委員（■）とのメンタリングが行われ、彼らの制作の軸や今後の展覧会の構想について意見交換と交流を深める機会となつた。

16回目となった「ART IN THE OFFICE」では、運営協力として公募アーティスト（■）の選出と制作のサポートを行なった。アーティストによる社員向けワークショップでは、マネックスグループの異なる4つの会社から17名の社員が参加。複数の国で育った背景を持つアーティストが「どの国で育っても、共通する懐かしさ」をテーマに実施した。参加社員から集めた幼少期のエピソードを、グループ内の別の誰かになりきってインタビューに応えていくことで、共通性を発見すると同時に、本来のエピソードとはまた別の物語が生み出されていく面白さを体験した。社員からは「社員同士の交流が深まった」「アーティストの創作活動の一端を体験できた」などの声があった。

「三菱商事アート・ゲート・プログラム」では、前年度までのプログラムのカタログ制作やウェブ・アーカイブ制作を行なった。新プログラムの検討を行うなかで、諸事情により、一旦の休止となつた。

多摩美術大学と連携し2年目となる「メルセデス・ベンツアート・スコープ」では、[REDACTED]がアーティスト・イン・レジデンスでドイツに滞在し、帰国後、多摩美術大学学生に特別レクチャーおよびワークショップを行い、作品を作り上げた。[REDACTED]はこの経験を元に制作した新作がVOCA2024の佳作賞を受賞した。今後も、アーティストインレジデンスを主軸に、本プログラムで培った経験をレクチャー・ワークショップを通して学生に伝え、学生の創作活動を刺激し、また、相互に影響を与えあう機会とすることでさらなる次世代アーティストの育成をはかっていく。

SBI新生銀行グループとの教育プログラムでは、AITのディアミーが主催した、障害などの特性のある子供や若者との芸術プログラムへの寄付協力により、アーティゾン美術館への美術鑑賞ツアーアーを実施した。昨年度は寄付のみだったが、今年は鑑賞する各グループに新生銀行の社員有志がボランティアとして関わるなど実地でも協働することができた。障害のある参加者とともに巡る鑑賞では、社員より「普段の仕事では得られない豊かな時間や様々な気づきを得られた」という回答もあり、有機的な関係性の構築の重要性が再確認できた。

恵比寿映像祭の関連企画として実施された「恵比寿映像祭コミッショナ・プロジェクト」には、昨年より継続して審査運営事務局として関わった。過去に、恵比寿映像祭や東京都写真美術館の展覧会に参加したアーティストから、気鋭の中堅アーティストを推薦で選び、選考委員との面談や作品プレゼンテーションを経て、一次選考で4名([REDACTED])を選出した。また、審査会に加え、同映像祭の海外発信に関わる海外の類似プログラムのリサーチ、選考委員による落選アーティストへのメンタリング、まだシンポジウムの企画・運営を実施し、選考委員やキュレーターとともにディスカッションを行い、日英で広く発信した。

AITが主催した「気候危機とアートの勉強会」2回目は、Yutaka Kikutake Gallery(六本木)を会場にギャラリストらが参加。3回目は森美術館オーディトリアムを会場に、GCC設立メンバー([REDACTED])をゲストに迎え、森美術館館長や輸送に関わる専門家とともに気候危機とアートの海外の動向や国内外の情報を多くの美術関係者と共有した。イベントを通じて美術館関係者やギャラリスト、大学教員など日本の美術関係者が課題を共有しながら対話をする貴重な機会となった。石橋財団から本活動に対する特別助成を受け活動が安定している。来年度は、他機関や財団からの支援も得ながら「気候危機とアート」の事業をより拡大して行きたい。今後も先進的な活動のリサーチや有益な情報発信を継続する。

## ⑤「現代美術に関する公開講座の実施」事業

教育プログラム「Total Arts Studies (TAS)」のアート講座では、深い観察(ディープ・ルッキング)から歴史や社会を考える内容と、アートとケアを考える2つの講座を代官山AITルーム他にて開催。4年ぶりの対面式となった講座では、少人数制の対話と、ディープ・ルッキングや美術館訪問などの体験を重視した内容で構成され、参加者のアンケートからは、参加者同士の交流も含め満足度の高い内容だったことが伺われた。また、長野県への日帰りのフィールドトリップを2回開催。ガイド付きで多津衛民藝館を巡り、民藝についてのトークを行ったほか、フェンバーガーハウスでは「ディープ・ルッキング」を体験するワークショップを行い、好評を得た。本ツアー参加後にAITの他講座を受講する動きもあるため、今後もニーズを探っていく。

都内ギャラリーや主要美術館を複数のルートで結び、期間限定で巡回するアートバスの運行や関連イベントを行う「アートウイーク東京2023」(AWT)では3つのオンライントークを企画・制作した。動画は、字幕付きでAWTのウェブサイトおよびYouTubeで公開された。また、今回より初めて開催された展覧会に合わせ「キッズ・ガイドツアー」と題して、親子向け、小学生向け、中高生向けの教育プログラムを企画・運営した。[REDACTED]キュレーションの展覧会テーマ「平衡世界(バランス)」をキーワードに作品選び、自由に解説や解釈を考えるガイドツアーを実施。小学生向けの回は定員を超える申し込みがあり、参加した親子や主催者からも好評を得た。一方、中高生向けはやや集客が難しい課題点もあり、今後の企画策定に活かしていきたい。

多様な子供と芸術家をつなぐ「ディアミー」では、文化庁の助成と、資生堂等企業の寄付を受け、昨年度から進めるプロジェクト「コレクティヴ・アマイズメント・トゥループ [CAT]」を継続した。ダウン症や自閉症の子供が参加する渋谷区の市民グループとオランダの美術館と協働し、アンビエント音楽と瞑想を取り入れた表現ワークショップを開催し、心を解放し表現を深める機会を創出。実施にあたりオランダより美術館での瞑想体験の実績のあるマインドフルネストレーナー([REDACTED])を1名招聘し、意見交換を経て開催した。イベントではローランド株式会社の機材提供や他企業の画材や素材提供を受け、音楽家4名([REDACTED])のライヴセッションを体感しながら自由に表現する環境作りができた。また、昨年に続き、障害のある若者と大人が対話をする美術鑑賞プログラム「インスピレーション・ツアー」をアーティゾン美術館で開催し、その経験から自身の表現に展開する創作活動を実施した。公開トークでは、オランダと日本の精神医療とアートを考えるセッションを開催。今回も日本語情報保障と日英逐次通訳を取り入れ、幅広い層が視聴できる工夫をした。記録はウェブレポートと映像で和英で配信し、活動を広く周知した。次年度以降も継続的に連携すべく話し合いを進めている。

## ⑥「現代美術に関する機関誌発行、インターネット上のホームページ開設、情報提供」事業

「TASプレミア」特設サイトでは、継続してオンデマンドでアート講座を配信。AITウェブサイトと連動させ、外部の動画配信サービスでレクチャーの抜粋映像を公開している。

昨年に続き、美術媒体「美術手帖ウェブ」に気候危機とアートに関する海外アーティストやゲストへのインタビュー、気候危機とアートをめぐる海外の主な活動を連載シリーズで公開中。特に、日本では入手しづらいアーティストらの草の根的な活動も含めて日本語で紹介することで、気候危機とアートの世界の最新動向をわかりやすく一般に伝えている。

そのほか、AITのウェブサイトに、フィンランドの海外芸術家の活動レポートや、オランダのバルタン・ラボラトリーとAITオンライン・レジデンスプログラムの報告物を掲載し、一般に広く紹介した。

#### **⑦美術と医療福祉に関する調査研究、アーカイヴ化推進、情報提供**

昨年に続き、アートとメンタルヘルス分野の取り組みの意義について、オランダのメンタルヘルスに携わる専門家との意見交換とヒアリングを行った。特に今年度は、AITスタッフ2名がオランダの美術館やヘルスケアの施設の取り組みを訪問するリサーチを行ったほか、同年冬にはオランダの複数の美術館でマインドフルネストレーナーとして経験のあるゲストを日本に招聘した。都内のアール・ブリュットの展示を行うアートギャラリーや日本財団を訪問し、障害のある人の美術館へのアクセスや表現について対話の機会を得た。また、多様な対象者との協働の知見や環境づくりについてのアドバイスをもらいつつ、AITや協働団体との意見交換を経てワークショップを開催し、その経験を映像やテキストの記録としてまとめ、特設ウェブサイトに公開した。今後も、参加者の特性の理解やアクセシビリティーの課題について様々なステークホルダーと連携し、リサーチを継続していく。

#### **(2) その他の事業**

##### **②「飲食提供業・物品販売業」事業**

今年度も、AIT Pressの書籍『DEEP LOOKING：想像力を蘇らせる深い観察のガイド』（著者：[REDACTED]）をオンラインショップや書店、イベント時に販売した。恵比寿映像祭（東京都写真美術館）にてマクドナルドが展示に参加した際は、会期中に同美術館ショップでの販売も行った。また、「ディアミー」の一環で製作したアーティストグッズを、オンラインショップにて販売した。

## **2 事業の実施に関する事項**

### **(1) 特定非営利活動に係る事業**

**(事業費の総費用【74,174】千円)**

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
①アーティストの東京滞在宿舎の提供及び生活支援サービス	[REDACTED] (フィンランド)、[REDACTED] (オランダ) 招聘	2023年5月～2024年4月	大田区、渋谷区	4名	海外在住アーティスト	120名	3,190
②海外におけるアーティストインレジデンス施設に関する情報収集、提供	気候危機とアートの研究団体GCCのリサーチ、意見交換、情報収集	2023年5月～2024年4月	オンライン	4名	一般	広く一般	0
③国内アーティストの海外施設への入所支援	バッカーズファンデーション ([REDACTED]) メルセデス・ベンツアート・スクープ ([REDACTED]) 派遣	2023年5月～2024年4月	オランダ、フランス、ドイツほか	3名	国内アーティスト	3名	4,334

④ 現代美術の展覧会、ワークショップの実施及びその支援	<p>「アート・イン・ザ・オフィス」運営協力（主催：マネックスグループ株式会社）  受賞作家：[REDACTED]  - 募集ウェブサイトの制作・告知  - 選考会実施  - 受賞者の滞在制作サポート  - ワークショップ企画実施  - レセプションイベント協力</p> <p>東京コンテンポラリー・アートアワード選考会運営事務局（主催：東京都、トヨタアーツアンドスペース）  - 海外選考委員招聘、選考会の実施、スタジオ訪問（[REDACTED]  [REDACTED]ほか）  - メンタリング4回（[REDACTED]  [REDACTED]）  - 受賞記念シンポジウム企画（[REDACTED]  [REDACTED]）  - 受賞記念展関連アーティスト・トーク企画（[REDACTED]  [REDACTED]）</p> <p>メルセデス・ベンツアート・スコープ[REDACTED]、ベルリンに派遣  - ドイツ人アーティスト、[REDACTED]を選出  - 多摩美術大学にて[REDACTED]によるトーク、ワークショップ開催</p> <p>新生銀行グループ  - 障害のある子供、若者向け鑑賞サポート</p> <p>恵比寿映像祭 コミッション・プロジェクト選考協力（[REDACTED]  [REDACTED]）  - 選考会運営業務  - メンタリング4回（[REDACTED]  [REDACTED]）  - シンポジウム（選考委員全員）  - 海外発信リサーチ：類似海外事業のリスト化</p> <p>三井不動産 パークホームズ本駒込新築マンション  - アート選定、設置  - コミッション作品コーディネーション（[REDACTED]）</p>	2023年5月-2024年4月	マネックスグループ（株）（港区）、オンライン	3名		115名	
		2023年5月-2024年4月	東京都現代美術館（江東区）、ほか都内スタジオ	5名		500名	
		2023年8月-12月	ベルリン市、多摩美術大学（八王子市）他	3名	国内アーティスト、海外キュレーター、社員、学生、広く一般	アーティスト1名、学生5-8名	40,483
		2023年10月	アーティゾン美術館（中央区）	2名		40名	
		2023年5月-2024年4月	オンライン、東京都写真美術館（目黒区）	4名		30名	

	<p>三井不動産レジデンシャル パークアクリ シス新宿百人町新築マンション</p> <p>- アート選定、設置 ( [REDACTED] [REDACTED]ほか) - コミッショニング作品コーディネーション ( [REDACTED] )</p> <p>アートウィーク東京 2023</p> <p>- オンライントークイベント企画、コンテンツ制作</p> <p>- 親子・キッズ、ユース向けアートツアーや企画、運営</p> <p>- シンポジウム、ラウンドテーブル企画</p> <p>大林組本社 アート作品メンテナンス</p>	<p>2023年5月 -2024年3月</p> <p>2023年8月-11月</p> <p>2023年8月 ~ 2024年3月</p>	<p>オンライン 新宿区</p> <p>オンライン、港区</p> <p>港区</p>	<p>2名</p> <p>3名</p> <p>3名</p>	<p>300名</p> <p>200名 再生数 2607回</p> <p>4000名</p>	
--	---	---	--	-------------------------------	--	--

⑤現代美術に関する公開講座の実施	現代美術の教育プログラム Total Art Studies (TAS)プレミア - 講座の企画、配信 (2コース) - フィールドトリップの企画、実施 (2回)	2023年4月 -2024年5月	オンライン代官山AITルーム (渋谷区)	6名	広く一般 障害児支援の市民グループ ほか広く一般	100名 250名	26,165
	子供と芸術家を繋ぐ 「ディアミー」による「CAT」 - 美術鑑賞ワークショップ1回 - 創作ワークショップ1回 - 音楽ワークショップ1回 - 公開トーク 各1回 (協働:アトリエ・エー、ミュージアム・オブ・マインド)	2023年5月 -2024年3月	アーティゾン美術館 (中央区)、下北沢 (世田谷区) オンライン	4名			
⑥現代美術に関する機関誌発行 インターネット上で の HP リニューアル、情報提供	イベントや人材募集等の情報を配信 (5回/年) ウェブサイト更新 - 記事、映像発信	2023年5月 -2024年4月	オンライン	7名	広く一般	7000名	0
⑦美術と医療福祉に関する調査研究、 アーカイブ化推進、 情報提供	メンタルヘルスとアートのリサーチ、 ヒアリング	2023年7月 -2024年2月	オンライン オランダ、 東京都内	2名	広く一般	7000名	0
⑧現代美術関連の イベントにおけるボランティア活動の情報提供、支援	実施なし	—	—	—	—	—	—

(2) その他の事業

(事業費の総費用【682】千円)

定款に記載 された 事業名	事業内容	日時	場所	従事者 人数	事業費 (千円)
①一部宿舎、スペースの賃貸業務	実施なし	—	—	—	—
②飲食提供業、物品販売業	『DEEP LOOKING: 想像力を蘇らせる 深い観察のガイド』出版・販売  ディアミーグッズ販売  交流イベントミングリアス (アーティスト・トーク: [REDACTED])	2023年5月- 2024年4月	オンライン、 書店、AITルーム (渋谷区、長野県他)	4名	682
③美術品の売買	実施なし	—	—	—	0.162 (古物商許可証取得に かかる旅費交通費)

## 事業報告用

## 5年度 活動計算書(その他事業がある場合)

特定非営利活動法人アーツ・イニシアティヴ・トウキョウ

科目	特定非営利活動に係る事業 金額	小計・合計	その他事業 金額	小計・合計	合計
<b>〔A〕 経常収益</b>					
1 受取会費 賛助会員受取会費		30,000	0	0	30,000
2 受取寄附金 受取寄附金		6,369,425	0	0	6,369,425
3 受取助成金等 受取助成金		0	0	0	0
4 事業収益 事業収益		70,896,751	901,595	71,798,346	
5 その他の収益 受取利息 雑収入 為替差益		105	1	1	106
<b>経常収益計</b>		<b>77,296,281</b>		<b>901,596</b>	<b>78,197,877</b>
<b>〔B〕 経常費用</b>					
<b>1 事業費</b>					
(1) 人件費 役員報酬 給料手当 賞与 法定福利費 福利厚生費		34,454,198	401,824	34,856,022	
(2) その他経費 売上原価 外注費 荷造運賃 広告宣伝費 交際費 旅費交通費 通信費 消耗品費 水道光熱費 保険料 修繕費 新聞図書費 地代家賃 支払手数料 講会費 会議費 租税公課 リース料 支払利息 為替差損 雑損失		39,720,136	280,755	40,000,891	
<b>事業費計</b>		<b>74,174,334</b>		<b>682,579</b>	<b>74,856,913</b>
<b>2 管理費</b>					
(1) 人件費 役員報酬 給料手当 退職給付費用 福利厚生費		0	0	0	0
(2) その他経費 消耗品費 水道光熱費 通信運搬費 地代家賃 旅費交通費 減価償却費		0	0	0	0
<b>管理費計</b>		<b>0</b>		<b>0</b>	<b>0</b>
<b>経常費用計</b>		<b>74,174,334</b>		<b>682,579</b>	<b>74,856,913</b>
<b>当期経常増減額〔A〕-〔B〕</b> ...①		<b>3,121,947</b>		<b>219,017</b>	<b>3,340,964</b>
<b>〔C〕 経常外収益</b>					
固定資産売却益 過年度損益修正益					
<b>経常外収益計</b>		<b>0</b>		<b>0</b>	<b>0</b>
<b>〔D〕 経常外費用</b>					
固定資産売却損 固定資産除却損 過年度損益修正損		1	0	0	1
<b>経常外費用計</b>		<b>1</b>		<b>0</b>	<b>1</b>
<b>当期経常外増減額〔C〕-〔D〕</b> ...②		<b>-1</b>		<b>0</b>	<b>-1</b>
<b>経理区分振替額</b> ...③		<b>219,017</b>		<b>-219,017</b>	<b>0</b>
<b>税引前当期正味財産増減額</b> ①+②+③...④		<b>3,340,963</b>		<b>0</b>	<b>3,340,963</b>
法人税、住民税及び事業税...⑤					852,315
前期繰越正味財産額...⑥					15,515,751
<b>次期繰越正味財産額</b> ④-⑤+⑥					<b>18,004,399</b>

## 事業報告用

## 5年度 貸借対照表

特定非営利活動法人アーツ・ニシアティヴ・トウキョウ

(単位：円)

科	目	金額	小計・合計
<b>【A】資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金預金		20,952,548	
売掛金		1,069,332	
商品		674,048	
仕掛品		2,311,142	
前払費用		513,215	
<b>流動資産合計</b> ・・・①			25,520,285
<b>2 固定資産</b>			
<b>(1) 有形固定資産</b>			
工具器具備品		0	
減価償却累計額		0	
<b>(2) 無形固定資産</b>			
<b>(3) 投資その他の資産</b>			
敷金		460,000	
<b>固定資産合計</b> ・・・②			460,000
<b>【A】資産合計 ①+②</b>			25,980,285
<b>【B-1】負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金		3,639,043	
未払法人税等		852,300	
未払消費税等		1,750,400	
前受金		1,330,000	
預り金		404,143	
<b>流動負債合計</b> ・・・③			7,975,886
<b>2 固定負債</b>			
<b>固定負債合計</b> ・・・④			0
<b>負債合計 ③+④</b>			7,975,886
<b>【B-2】正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産額		15,515,751	
当期正味財産増減額		2,488,648	
<b>正味財産合計</b>			18,004,399
<b>【B】負債及び正味財産合計 【B-1】+ 【B-2】</b>			25,980,285

## 5年度 計算書類の注記 事業報告用

## 特定非営利活動法人アーティスト・トキヨカ

## 1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
最終仕入による原価法

- (2) 固定資産の減価償却の方法  
什器備品の減価償却は定率法

- (3) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は税抜方式により処理しております。

## 2. 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	アーティストの東京 滞在支援活動 事業	国内アーティストの 海外施設への 入所 事業	現代美術の展 覧会ワーキングショップ <sup>®</sup> の実施 事業	現代美術の 公開講座 事業	飲食提供、物 品販売 事業	作品売買 事業	事業部門計	管理部門	合計
<b>I 経常収益</b>									
1. 受取会費	0	0	0	30,000	0	0	30,000		30,000
2. 受取寄附金	0	0	0	6,369,425	0	0	6,369,425		6,369,425
3. 受取助成金	0	0	0	0	0	0	0		0
4. 事業収益	2,784,852	4,194,280	40,952,843	22,964,776	901,595	0	71,798,346		71,798,346
5. その他の収益	4	6	55	40	1	0	106		106
<b>経常収益計</b>	<b>2,784,856</b>	<b>4,194,286</b>	<b>40,952,898</b>	<b>29,364,241</b>	<b>901,596</b>	<b>0</b>	<b>78,197,877</b>	<b>0</b>	<b>78,197,877</b>
<b>II 経常費用</b>									
<b>(1) 人件費</b>									
役員報酬	213,678	321,821	3,142,248	2,253,075	69,178	0	6,000,000		6,000,000
給料手当	833,215	1,254,910	12,252,895	8,785,649	269,753	0	23,396,422		23,396,422
賞与	6,766	10,191	99,504	71,348	2,191	0	190,000		190,000
法定福利費	186,617	281,065	2,744,312	1,967,744	60,417	0	5,240,155		5,240,155
福利厚生費	881	1,327	12,963	13,989	285	0	29,445		29,445
<b>人件費計</b>	<b>1,241,157</b>	<b>1,869,314</b>	<b>18,251,922</b>	<b>13,091,805</b>	<b>401,824</b>	<b>0</b>	<b>34,856,022</b>	<b>0</b>	<b>34,856,022</b>
<b>(2) その他経費</b>									
売上原価	0	0	0	15,613	0	0	15,613		15,613
外注費	192,464	2,140,658	15,831,116	7,747,745	34,144	0	25,946,127		25,946,127
荷造運賃	2,517	1,495	26,541	38,558	321	0	69,432		69,432
広告宣伝費	132	199	31,947	156,519	43	0	188,840		188,840
交際費	16,245	36,570	67,363	31,845	219	0	152,242		152,242
旅費交通費	90,578	36,536	2,741,279	2,123,222	5,122	162	4,996,899		4,996,899
通信費	44,085	5,369	60,382	167,411	61,707	0	338,954		338,954
消耗品費	103,389	26,065	670,381	649,210	19,398	0	1,468,443		1,468,443
水道光熱費	41,875	8,207	80,132	57,457	1,764	0	189,435		189,435
保険料	0	0	76,130	38,288	0	0	114,418		114,418
修繕費	0	0	0	0	0	0	0		0
新聞図書費	1,058	88	857	614	19	0	2,636		2,636
地代家賃	1,371,098	148,038	1,926,308	1,036,415	31,822	0	4,513,681		4,513,681
支払手数料	12,932	13,999	138,188	174,227	116,721	0	456,067		456,067
諸会費	0	0	0	0	0	0	0		0
会議費	45,985	7,142	183,798	95,039	581	0	332,545		332,545
租税公課	755	1,138	11,109	14,915	245	0	28,162		28,162
リース料	4,291	6,462	63,096	45,242	1,389	0	120,480		120,480
支払利息	0	0	0	0	0	0	0		0
為替差損	0	0	697	0	0	0	697		697
雑損失	21,924	33,020	322,405	681,773	7,098	0	1,066,220		1,066,220
その他経費計	1,949,328	2,464,986	22,231,729	13,074,093	280,593	162	40,000,891	0	40,000,891
<b>経常費用計</b>	<b>3,190,485</b>	<b>4,334,300</b>	<b>40,483,651</b>	<b>26,165,898</b>	<b>682,417</b>	<b>162</b>	<b>74,856,913</b>	<b>0</b>	<b>74,856,913</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>-405,629</b>	<b>-140,014</b>	<b>469,247</b>	<b>3,198,343</b>	<b>219,179</b>	<b>-162</b>	<b>3,340,964</b>	<b>0</b>	<b>3,340,964</b>

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

(単位:円)

内容	金額	算定方法

4. 使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。

当法人の正味財産は18,004,399円ですが、そのうち5,869,425円は、下記のように使途が特定されています。

したがって使途が制約されていない正味財産は12,134,974円です。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
(株)資生堂	280,550	319,425	280,550	319,425	
(株)SBI新生銀行	0	550,000	0	550,000	
(公財)石橋財團	0	4,500,000	0	4,500,000	
合計	280,550	5,369,425	280,550	5,369,425	

5. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額		期末帳簿価額
有形固定資産							
什器備品	393,645		393,645	0	0		0
無形固定資産							
投資その他の資産							
敷金	460,000						460,000
合計	853,645	0	393,645	0	0		460,000

6. 借入金の増減内訳

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計				

7. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科目	計算書類に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人との取引
(活動計算書)			
活動計算書計			
(貸借対照表)			
未払金	3,639,043	186,607	
貸借対照表計	3,639,043	186,607	

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

- 事業費と管理費の按分方法
- その他の事業に係る資産の状況

## 事業報告用

## 5年度財産目録

特定非営利活動法人アーツ・インシアティヴ・トキヨカ

(単位:円)

科	目	金額	小計	合計
<b>【A】資産の部</b>				
<b>1 流動資産</b>				
現金預金			25,520,285	
手元現金	70,954	20,952,548		
三菱UFJ銀行 普通預金	3,051,857			
みずほ銀行 普通預金	17,726,575			
三井住友銀行 普通預金	103,162			
売掛金		1,069,332		
アーツ・インシアティヴ・トキヨカの東京滞在支援事業売掛金	0			
海外施設入所支援売掛金	10,879			
現代美術の展覧会リーコンサルティングの実施事業売掛金	484,000			
現代美術の公開講座事業売掛金	520,858			
飲食提供、物品販売事業売掛金	53,595			
棚卸資産		2,985,190		
販売用	674,048			
仕掛品	2,311,142			
前払費用		513,215		
■	5,375			
朝倉不動産	88,000			
matsuri technologies	419,840			
<b>流動資産合計</b>			<b>25,520,285</b>	
<b>2 固定資産</b>				
<b>(1) 有形固定資産</b>				0
什器備品			0	
パソコン	0			
減価償却累計額	0			
<b>(2) 無形固定資産</b>			<b>0</b>	
<b>(3) 投資その他の資産</b>			<b>460,000</b>	
敷金		460,000		
朝倉不動産	460,000			
<b>固定資産合計</b>			<b>460,000</b>	
<b>【A】資産合計 ①+②</b>			<b>25,980,285</b>	
<b>【B-1】負債の部</b>				
<b>1 流動負債</b>				
未払金			<b>7,975,886</b>	
■		3,639,043		
その他	1,300,000			
	900,000			
	1,439,043			
前受金		1,330,000		
The Finnish Cultural	1,330,000			
預り金		404,143		
源泉徴収税	297,910			
社会保険料	0			
住民税	66,100			
雇用保険	40,133			
未払法人税等		852,300		
未払法人税	852,300			
未払消費税		1,750,400		
未払消費税	1,750,400			
<b>流動負債合計</b>			<b>7,975,886</b>	
<b>2 固定負債</b>				
長期借入金				
退職給付引当金				
<b>固定負債合計</b>			<b>0</b>	
<b>【B-1】負債合計 ③+④</b>			<b>7,975,886</b>	
<b>【B-2】正味財産合計 【A】-【B-1】</b>			<b>18,004,399</b>	

## 令和5年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）  
**特定非営利活動法人アーツ・イニシアティヴ・トウキョウ**

## 1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- ✓ 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
- ✓ 各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

## 2 役員一覧

役名 どちらかに 。	(フリガナ) 氏名		前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
			令和5年5月1日 ～ 令和6年4月30日	年 月 日 ～ 年 月 日
1 理事	シオミユウコ 塩見 有子			
2 理事	スミトモフミヒコ 住友 文彦			
3 理事	キリカワヨウコ 桐川 洋子 (宮原)			
4 理事	ホリウチナオコ 堀内 奈穂子			
5 理事	ニシヤマユウコ 西山 裕子			
6 理事	ナンジョウフミオ 南條 史生			
7 監事	ナカモリヤスフミ 中森 康文			
8		以上	年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日

## 社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人アーツ・イニシアティヴ・トウキョウ

	氏名
1	塩見 有子
2	ロジャー・クリストファー・マクドナルド
3	住友 文彦
4	宮原（桐川）洋子
5	西山 裕子
6	南條 史生
7	中森 康文
8	堀内 奈穂子
9	肥田 曜子
10	藤井 理花
11	坂本 理恵
12	和田 真文